

2026年度

(令和8年度)

紋別市における景気動向調査

＜第1四半期＞

報 告 書

紋別商工会議所

目 次

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 回収状況	1

II. 概 況

1. 全体の動き	2
(1) 今期の業況	2
(2) 部会別の動向	3
2. 今期の動向	
(1) 今期の売上高・生産高	6
(2) 今期の採算	7
(3) 今期の資金繰り	8
(4) 今期の在庫水準	9
(5) 今期の借入金の金利水準	10
(6) 設備投資の実施状況	10
3. 来期の見通し	
(1) 来期の業況見通し	11
(2) 来期の売上高・生産高見通し	11
(3) 来期の資金繰り見通し	12

III. 各 指 標

1. 各指標	12
--------------	----

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 2026 年 7 月 17 日

(2)調査対象期間 2026 年 4 月～6 月期の実績および 2026 年 7 月～9 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業＋食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業＋諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業＋食品業部会	30 社	15 社	50.0%
水産業部会	30 社	15 社	50.0%
機械工業部会	30 社	18 社	60.0%
建設業部会	30 社	26 社	86.6%
観光・サービス業＋諸業部会	30 社	20 社	66.6%
合 計	150 社	94 社	62.6%

(注 1) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示します。

(注 2) 各項目の数値は、端数処理（四捨五入）の関係上、合計が 100.0%にならない場合があります。

Ⅱ. 概 況

ー業況はマイナスのまま停滞。来期もほぼ横ばいの見込みー

1. 全体の動き（業況）

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期（2026（令和7）年4月～6月）の全業種と各部会におけるの平均DI値**（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、**前年同期比▲28.7**と前年同期（R7.4～6月）の▲21.1より**7.6ポイントの悪化**となりました。各部会における前年同期との比較は以下の通りです。

	前年同期 (R7.4～6月)	今期 (R8.4～6月)	増減幅
商業＋食品業部会	▲42.9	▲53.3	▲10.4（悪化）
水産業部会	▲21.1	▲73.3	▲52.2（悪化）
機械工業部会	▲33.4	▲33.3	0.1（回復）
建設業部会	▲12.5	▲7.7	4.8（回復）
観光・サービス業＋諸業部会	▲9.5	0.0	9.5（回復）

今回の調査では、前年同期と比べ、建設業、観光・サービス業＋諸業が「回復」、商業＋食品業、水産業が大幅な「悪化」となりました。水産業においては、業況が「好転」と回答した事業所がなく、令和7年7月～9月期から4期連続でマイナス50ポイントを下回る結果となっており、長期間苦しい状況になっていることが伺えます。全業種を通して、材料単価や原材料価格、仕入単価の上昇が長期間続いており、コスト増加に苦慮している状況です。

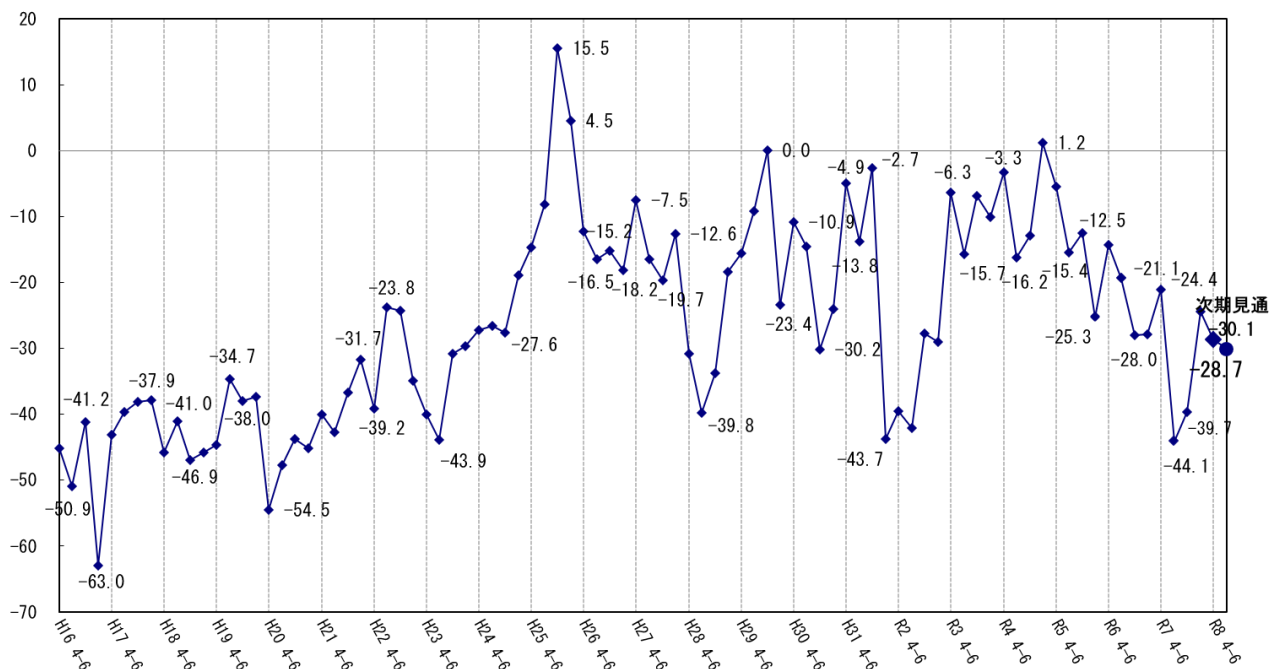
来期（2026年7月～9月）の業況判断DIは▲30.1（今期比）と1.4ポイント悪化の見通しとなっています。

紋別商工会議所 景気動向調査（業況の推移）

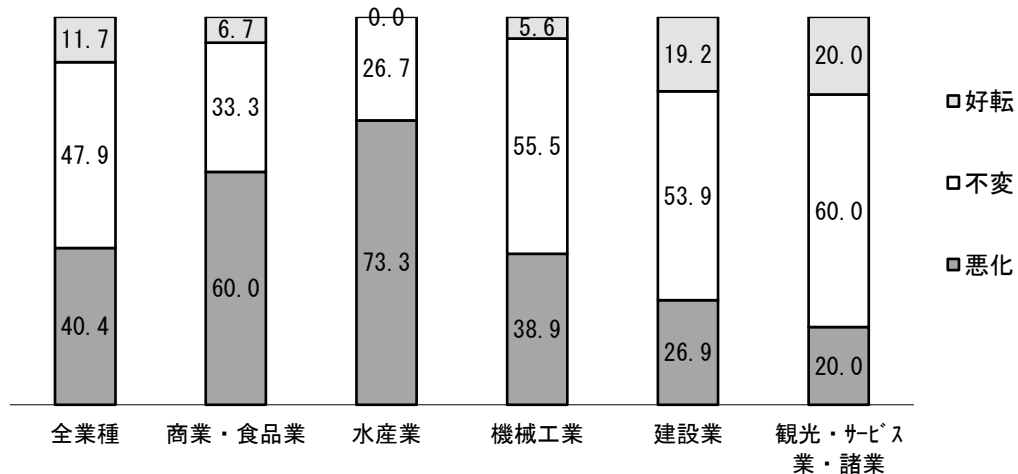
D-1

（好転－悪化）

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「原材料・材料価格・仕入価格の上昇」、「人件費の増加」、「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

部会別の動向

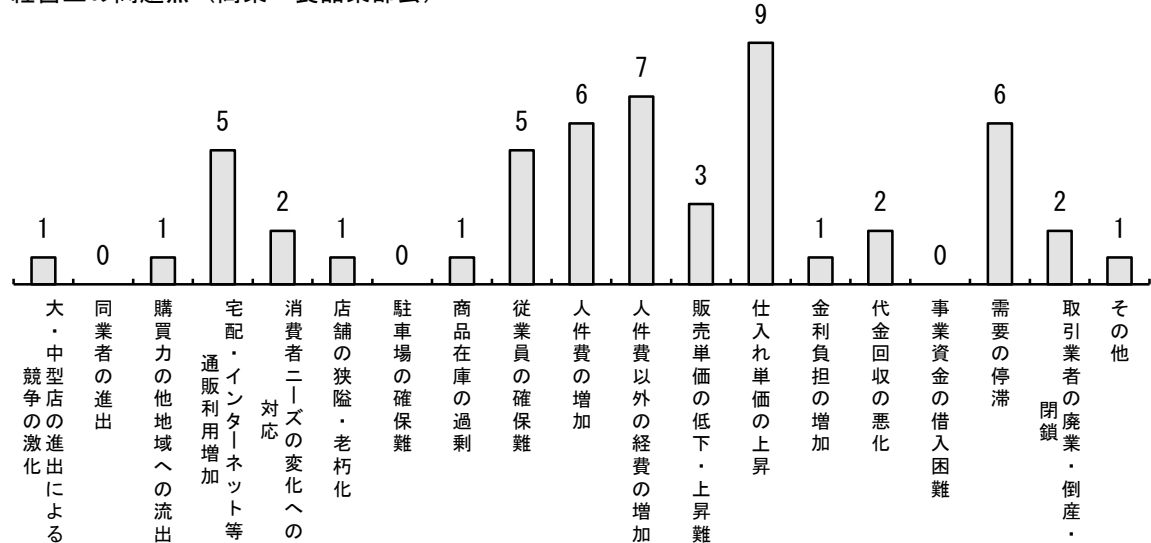
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲53.3（前年DI値▲42.9、来期見通し▲40.0）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年から10.4ポイントの悪化となりました。商品の仕入価格が高止まりする一方、消費者の購買意欲が伸び悩み、販売数量の確保が難しい状況が続いています。また、インターネット通販の利用拡大により、実店舗への来店客数が減少するなど、厳しい経営環境となっています。来期の見通しは▲40.0と、今期より回復が見込まれるものの、依然として厳しい状況が続く見通しです。経営上の問題点としては、前述の要因に加え、「需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・今後もコメ等の物価高が予想され、売り上げは上がるも各種仕入がどの程度上がるか不明。この状態が続くと利益の予想がつかないし、これ以上単価の値上げも出来ず、今のところ手の打ちようがない。（食品製造業）

経営上の問題点（商業・食品業部会）

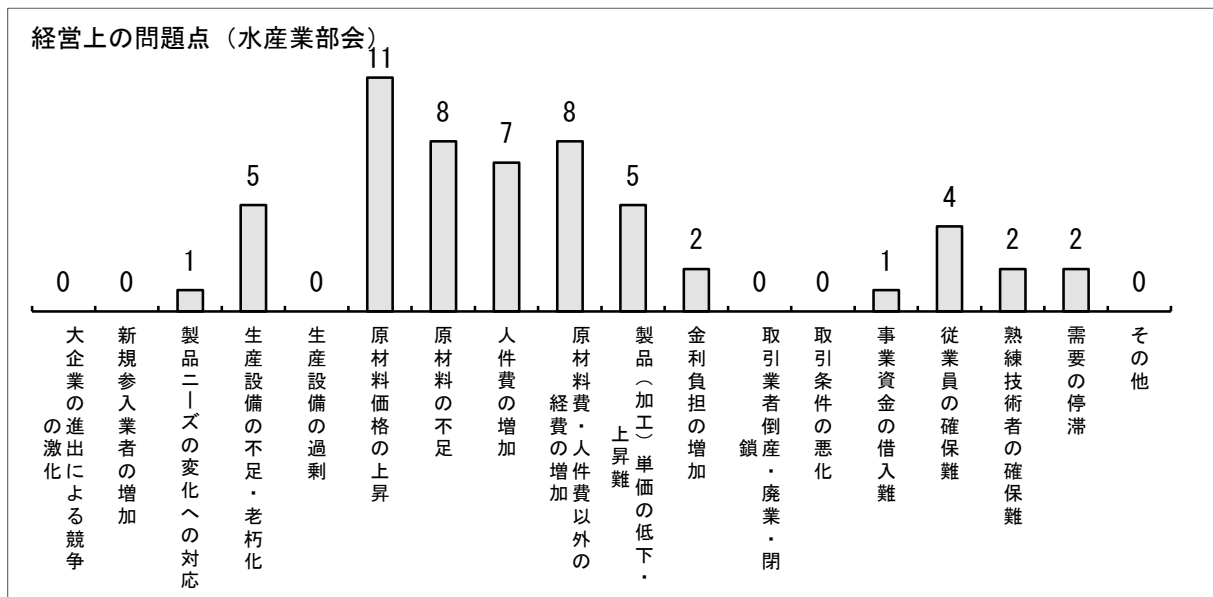


【水産業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲73.3（前年 DI 値▲21.1、来期見通し▲40.0）〕

業況判断 DI 値（前年同期比）は、前年から 52.2 ポイントの大幅な悪化となりました。経営上の問題点では、「原材料価格の上昇」や「原材料の不足」を挙げる声が多く、長期化する原材料の高騰・不足が経営に大きな影響を及ぼしています。また、「人件費の増加」や原材料・人件費以外の経費の増加など、各種コストの上昇も経営を圧迫していることが伺えます。来期の見通しについては、水産業が最盛期を迎える時期ですが、DI 値は▲40.0 と依然として厳しい状況が続く見通しです。

《業界の問題点等》

- ・元請に原価高騰分を価格転嫁できない。（してもらえない。）（水産食料品製造業）
- ・捕獲魚種が変化しつつあり、ブリやフグなどが捕れている。道民には比較的馴染みのない魚種の新規販路開拓が必要と思われる。（水産食料品製造業）

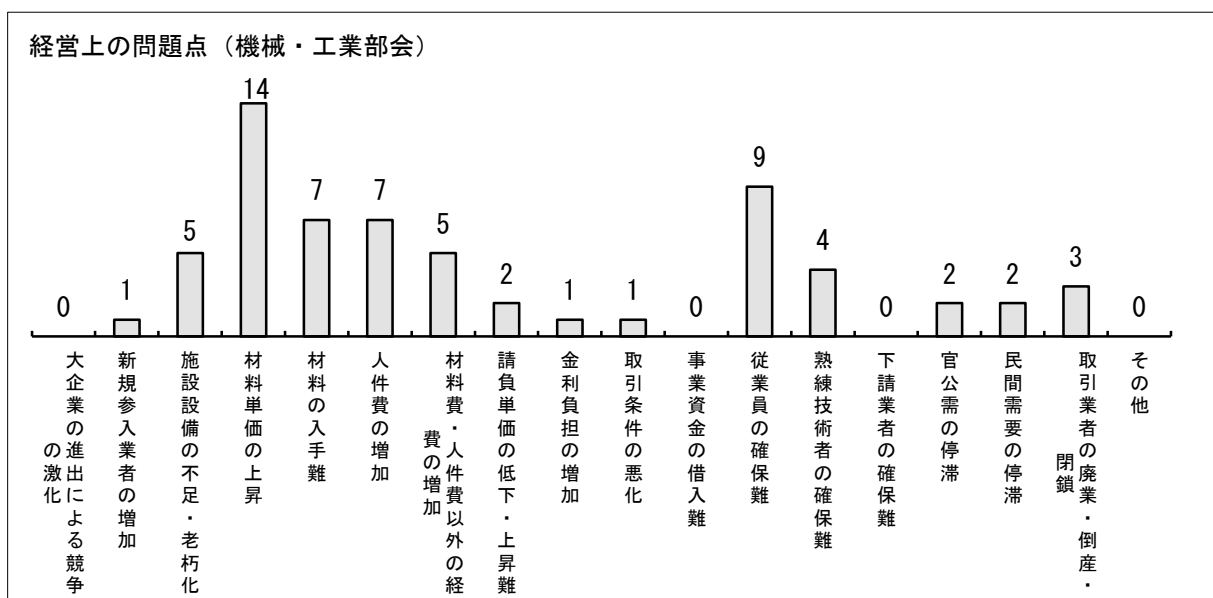


【機械・工業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲33.3（前年 DI 値▲33.4、来期見通し▲22.2）〕

業況判断 DI 値（前年同期比）は、前年から 0.1 ポイントの回復となりました。問題点としては「材料単価の上昇」が突出して多く挙げられています。加えて、受注したいが、「従業員の確保難」等を理由に受けられないなどの声もあり、コスト増と受注機会の損失の双方が業況を押し下げる要因となっています。来期の見通しは▲22.2 と回復が見込まれています。

《業界の問題点等》

- ・仕入の高騰化に伴い、官公・民間の停滞が続き売り上げが伸び悩んでいる。（畳製造販売）
- ・見積り依頼案件はあるが人材不足及び外注先不足により受注が困難である。（機械等修理業）

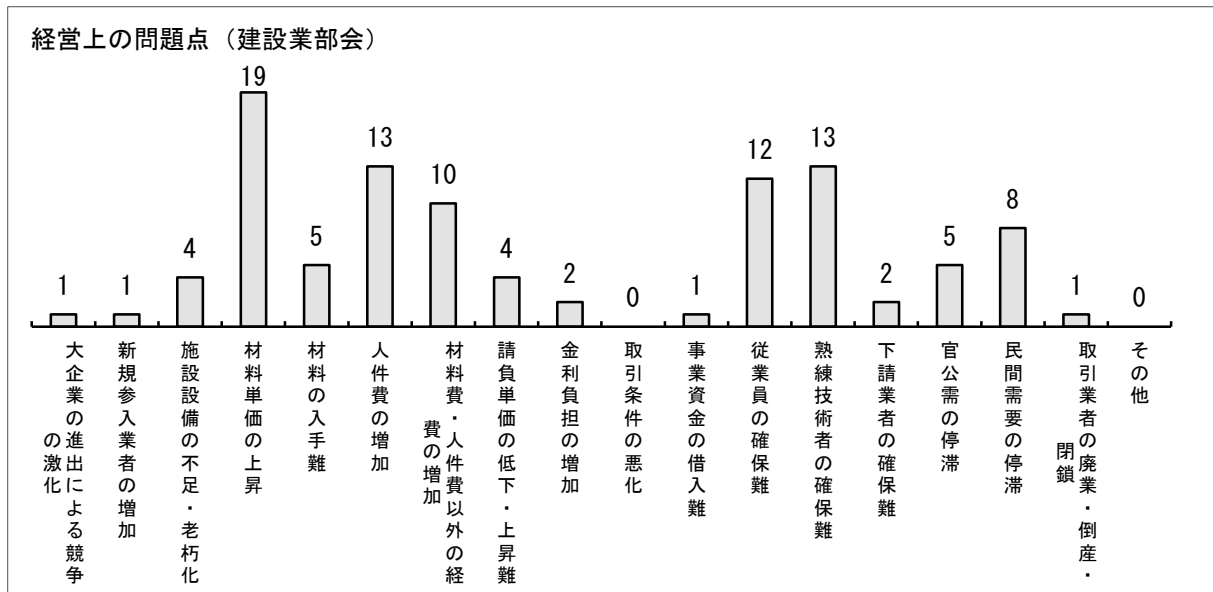


【建設業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲7.7（前年 DI 値▲12.5、来期見通し▲34.6）〕

業況判断 DI 値（前年同期比）は、前年同期から 4.8 ポイントの回復となりました。経営上の問題点では、「材料単価の上昇」を挙げる声が最も多く、資材価格の高止まりが引き続き経営を圧迫しています。また、「人件費の増加」に加え、「従業員の確保難」や「熟練技術者の確保難」など、人手不足に関する課題も多く挙げられており、受注や工事の進捗への影響を懸念する声も見られます。来期の見通しは DI 値▲34.6 と大幅な悪化が予測されており、先行きに対する慎重な見方が広がっています。

《業界の問題点等》

- ・材料単価の上昇、材料の入手困難（管工事業）
- ・主に下請工事が多く、受注金額が変わらない中で人件費が上がっている。また人件費を上げなければ人の確保も難しい。（土木建築工事業）
- ・下請業者の廃業、または人員不足により、工事に影響が出ている。（土木建築工事業）
- ・未だに中東情勢の影響が続いている。（電気工事業）

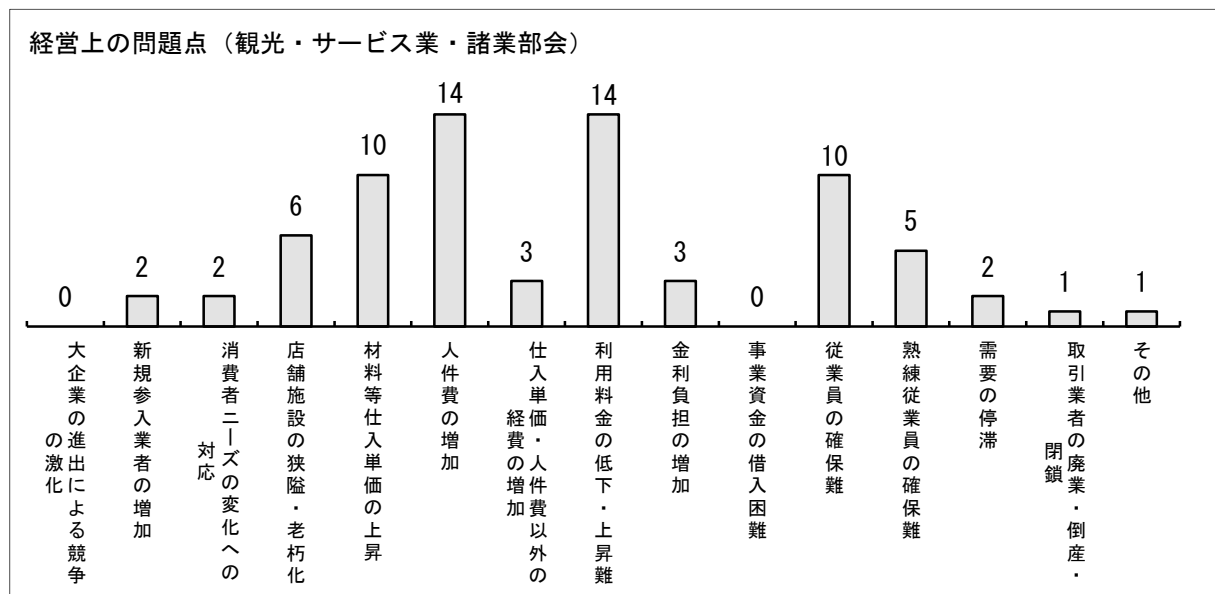


【観光サービス・諸業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）0.0（前年 DI 値▲9.5、来期見通し▲15.8）〕

業況判断 DI 値（前年同期比）は、前年同期から 9.5 ポイントの回復となりました。飲食業や介護業で「好転」とする回答が多く、DI 値は 0.0 となりました。一方、経営上の問題点では、「人件費の増加」と「利用料金の低下・上昇難」を挙げる声が最も多く、コスト上昇分を価格へ十分に転嫁できない状況がうかがえます。また、「材料等仕入単価の上昇」や「従業員の確保難」も多く挙げられており、物価高と人手不足が経営上の大きな課題となっています。来期の見通しは DI 値▲15.8 と再びマイナスに転じる見込みであり、先行きについては慎重な見方が広がっています。

《業界の問題点等》

- ・今後の方向性が見えづらい。時代の流れが速く、ついていくのが難しい。（飲食業）
- ・燃料代の高騰、人件費の高騰、人材不足（旅客運送業）
- ・原材料の高騰、人件費の上昇による物件リフォームの見送り、新築物件の建設の中止が続き、提供レベルの低下による空室の増加が懸念される。（不動産業）



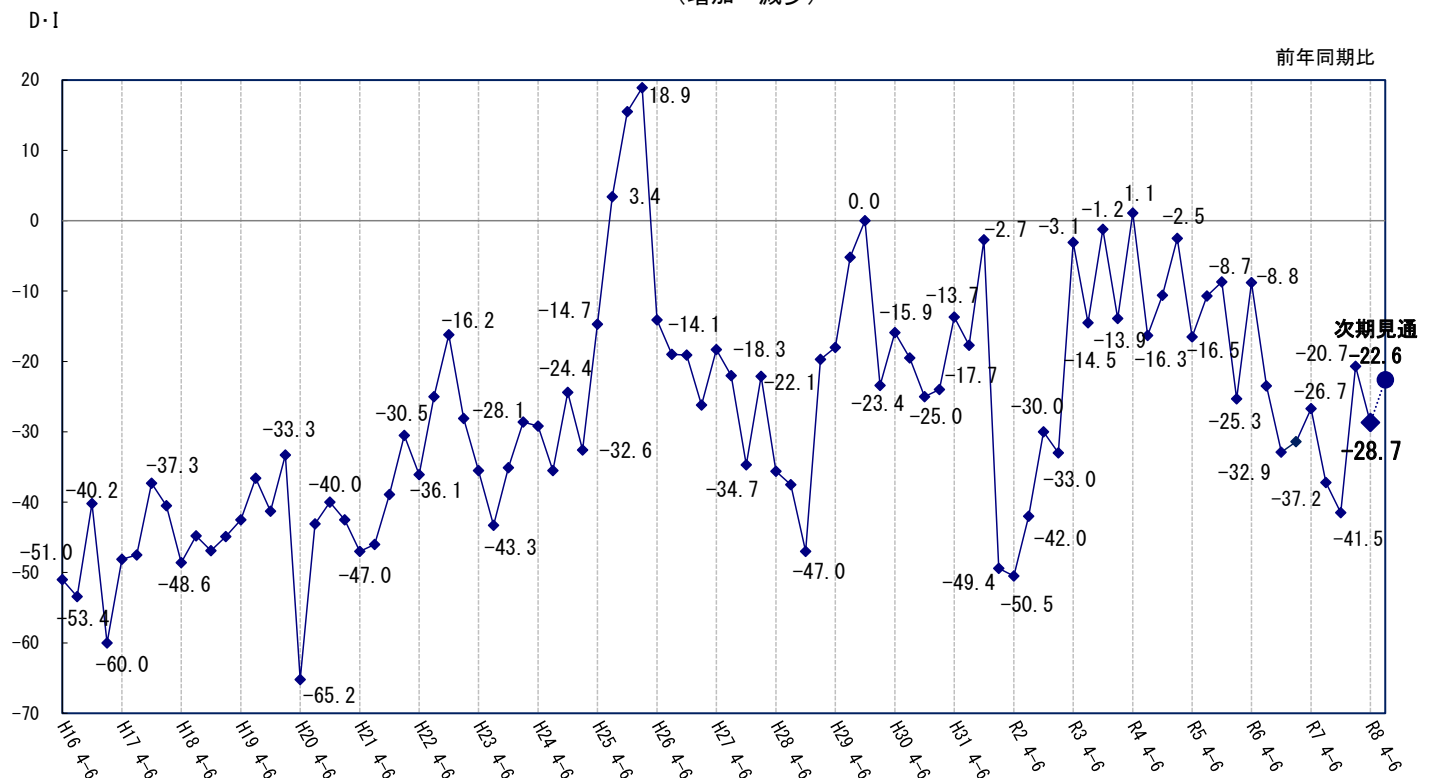
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

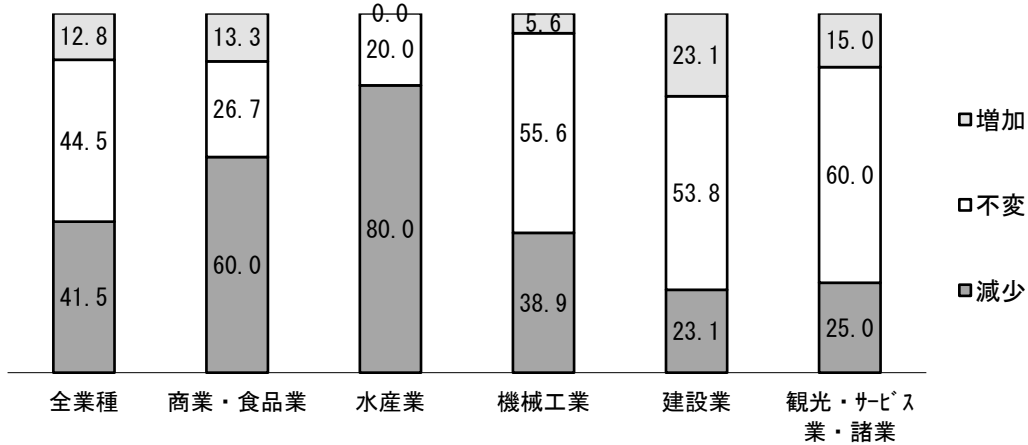
【前年同期比】（令和 7（2025）年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均 D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲28.7〔前年同期（令和7年4～6月期▲26.7）より2.0ポイント悪化〕

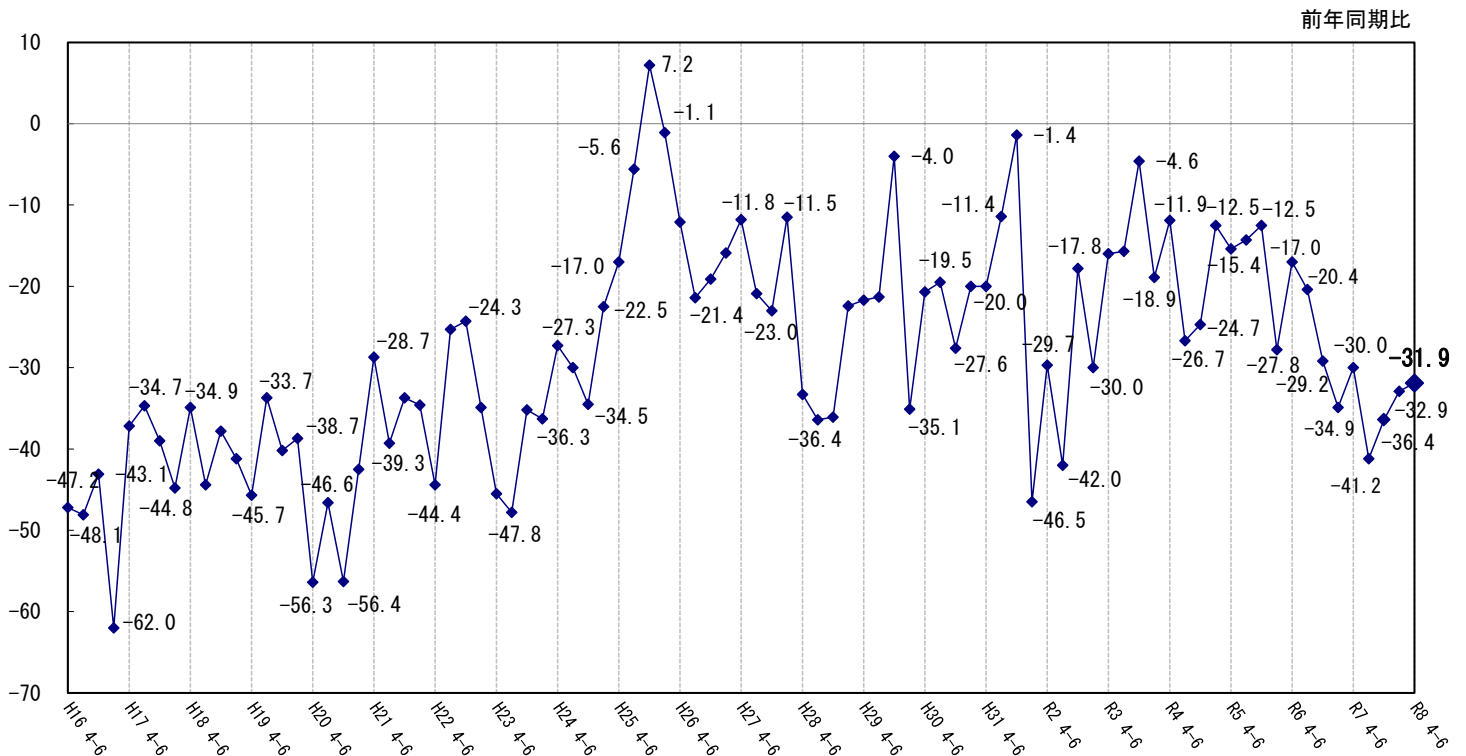
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲42.9→▲46.7〕、水産業〔前年▲26.3→▲80.0〕
 機械工業〔前年▲41.7→▲33.3〕、建設業〔前年▲20.9→0.0〕
 観光・サービス業〔前年▲14.3→▲10.0〕

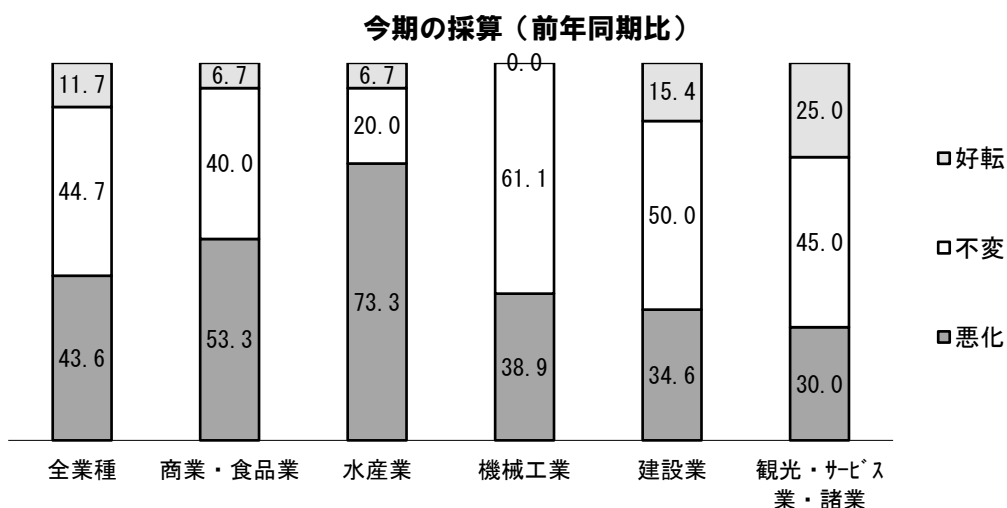
(2) 今期の採算

【前年同期比】（令和7（2025）年4月～6月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）

（黒字－赤字）



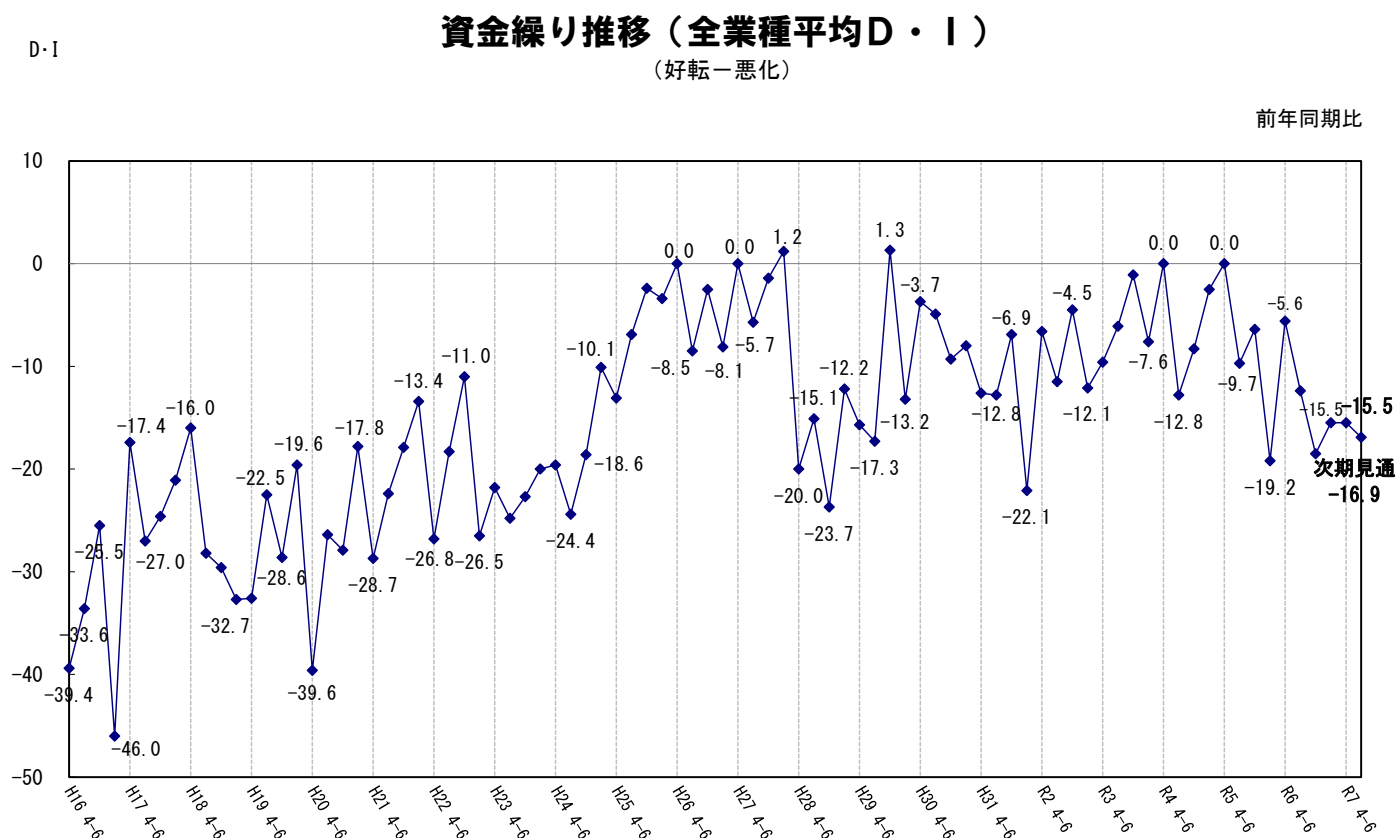


全業種平均でDI値▲31.9〔前年同期（令和7年4～6月期▲30.0）より1.9ポイント悪化〕

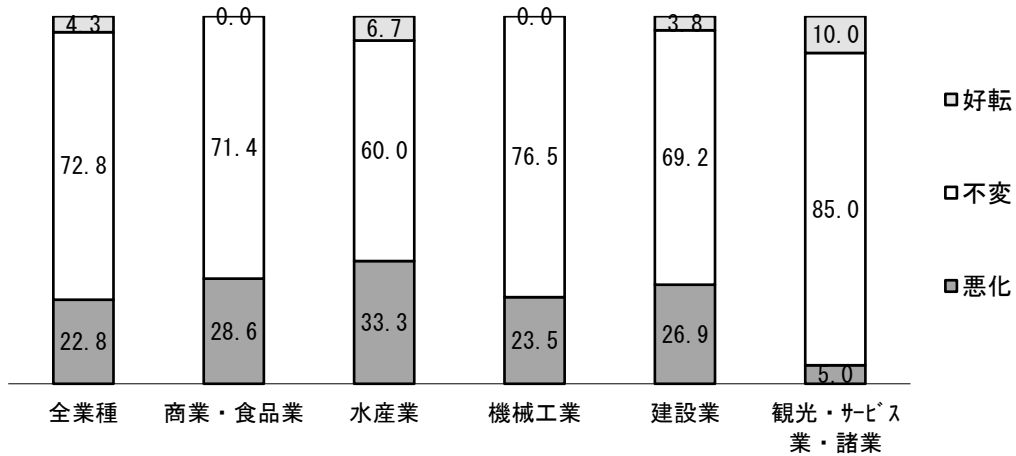
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲50.0→▲46.6〕、水産業〔前年▲31.6→▲66.6〕
 機械工業〔前年▲23.4→▲38.9〕、建設業〔前年▲16.6→▲19.2〕
 観光・サービス業〔前年▲28.6→▲5.0〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（令和7（2025）年4月～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



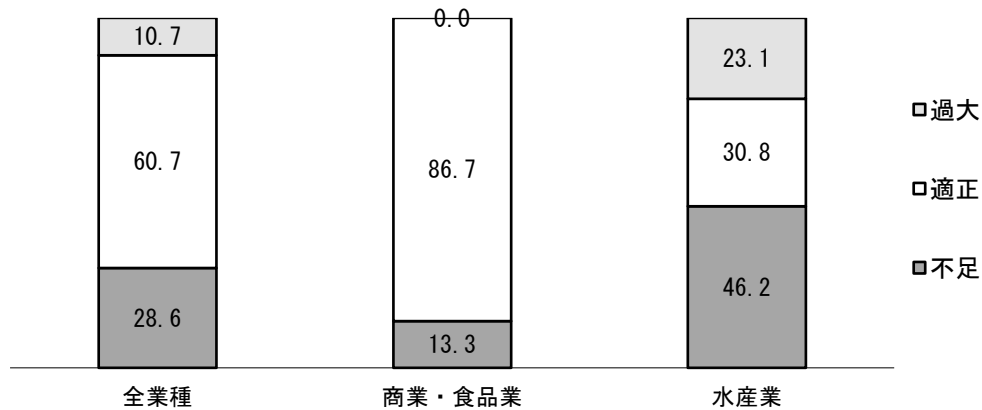
全業種平均で DI 値 ▲18.5〔前年同期（令和 7 年 4～6 月期▲15.5）より 3.0 ポイント悪化〕

[部会別 DI 値] 商業・食品業〔前年▲42.9→▲28.6〕、水産業〔前年▲10.5→▲26.6〕
 機械工業〔前年▲25.0→▲23.5〕、建設業〔前年▲13.0→▲23.1〕
 観光・サービス業〔前年 0.0→5.0〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（令和 7（2025）年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）

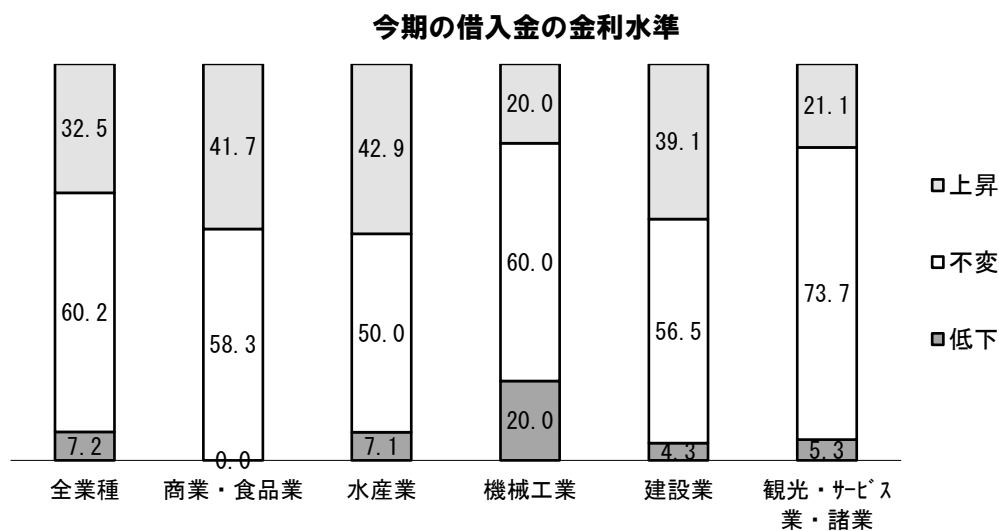


全業種平均で DI 値▲17.9〔前年同期（令和 7 年 4～6 月期▲6.2）より 3.2 ポイント不足傾向〕

[部会別 DI 値] 商業・食品業〔前年 14.3→▲13.3〕、水産業〔前年▲22.2→▲23.1〕

(5) 今期の借入金の金利水準

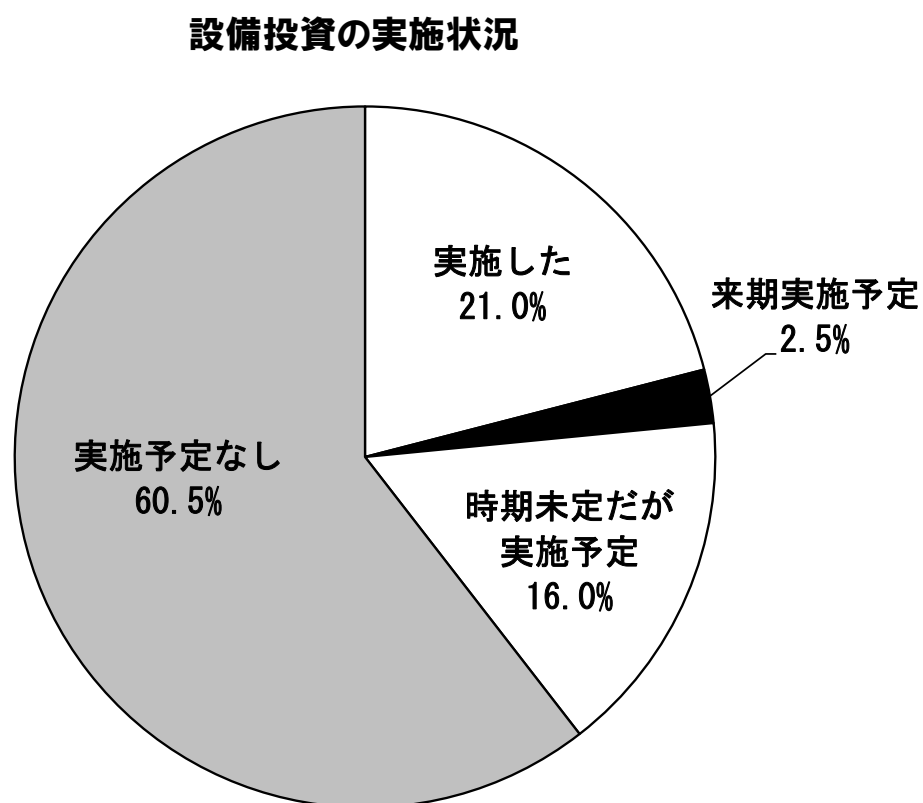
【前年同期比】（令和 7（2025）年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で DI 値 25.3。商業食品業 41.7、水産業 35.8、機械工業 0.0、建設業 34.8、観光サービス業 15.8。

(6) 設備投資の実施状況

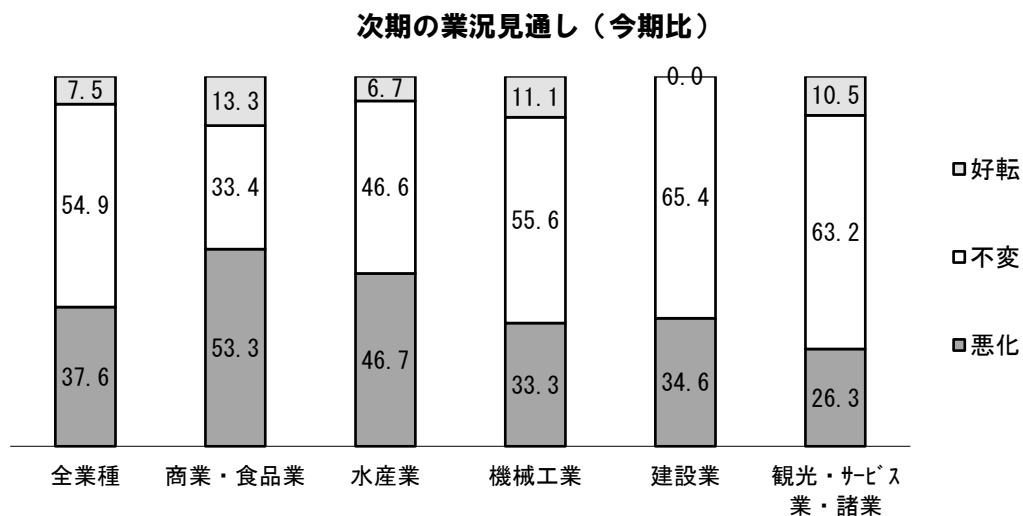
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

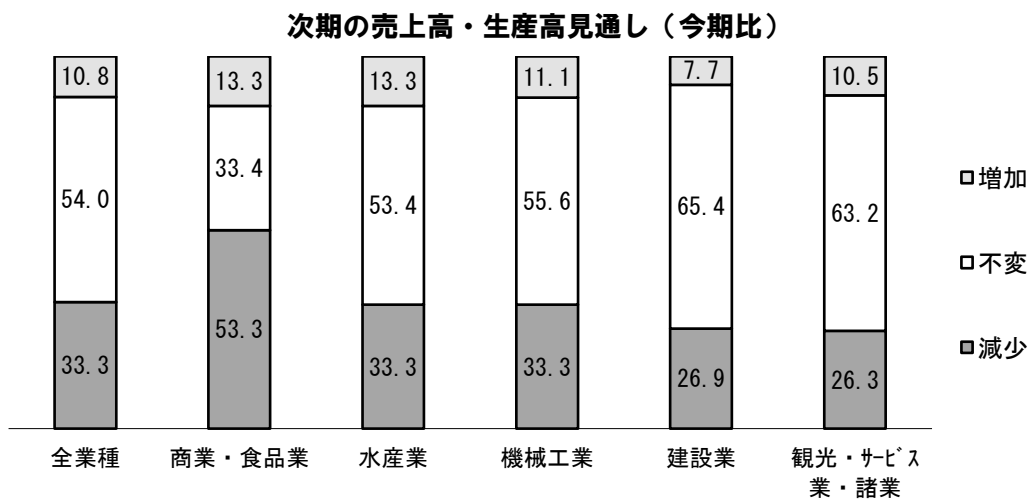
【今期比】（令和 8（2026）年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値▲30.1〔今期の業況（前年同期比▲23.9）より 6.2 ポイント悪化の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

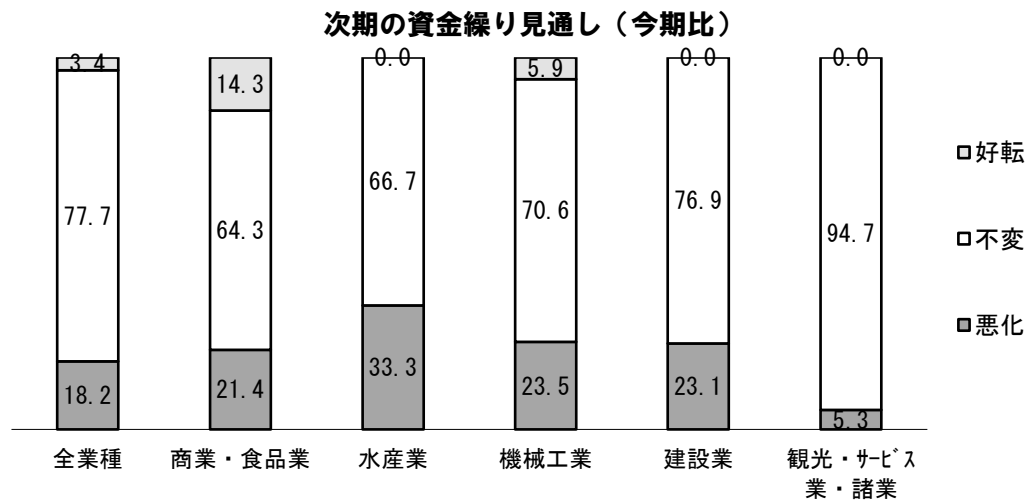
【今期比】（令和 8（2026）年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲22.6〔今期の売上高・生産高（前年同期比▲28.7）より 6.1 ポイント回復の見通し〕

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（令和 8（2026）年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値▲14.8〔今期の資金繰り（前年同期比▲16.9）より 2.1 ポイント回復の見通し〕

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス ・ 諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲28.7	▲53.3	▲73.3	▲33.3	▲7.7	0.0
	来期見通し	▲30.1	▲40.0	▲40.0	▲22.2	▲34.6	▲15.8
売上高・ 生産高 D・I	今期実績	▲28.7	▲46.7	▲80.0	▲33.3	0.0	▲10.0
	来期見通し	▲22.5	▲40.0	▲20.0	▲22.2	▲19.2	▲15.8
在庫 D・I	今期実績	▲17.9	▲13.3	▲23.1	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	▲31.9	▲46.6	▲66.6	▲38.9	▲19.2	▲5.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲18.5	▲28.6	▲26.6	▲23.5	▲23.1	5.0
	来期見通し	▲14.8	▲7.1	▲33.3	▲17.6	▲23.1	▲5.3
借入金 金利水準 D・I	今期実績	25.3	41.7	35.8	0.0	34.8	15.8
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。